

第2回水稻病虫害発生予察状況の調査結果について

令和7年7月10日

兵庫県農業共済組合佐用事務所

佐用町内（佐用3、上月2、南光2、三日月2）の水稻病虫害発生状況について7月10日に調査を行いました。一部のほ場において、ヒメトビウンカ・セジロウンカ・イネカメムシ等の害虫が確認されました。

1 調査結果（調査日7月10日）

病虫害名	調査結果の概要
いもち病	一部のほ場で発生がありました。
紋枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。
縞葉枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。
ウンカ類	一部のほ場で発生がありました。
ツマグロヨコバイ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。
ニカメイチュウ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。
カメムシ類	一部のほ場で発生がありました。

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

① いもち病

常発地域ではこまめにほ場を観察し、必要であればウンカ防除も含めてコラトップトレボン粒剤（3～4 kg/10 a）を早めに散布しましょう。

② カメムシ類

不稔と斑点米を引き起こすイネカメムシが見られました。昨年被害が見られた地域、近隣地域で発生があった等心配される地域は対策として2回の防除を行ってください。

推奨薬剤：スタークル液剤 10

時 期：1回目（不稔対策）：出穂から穂揃い期、（粒剤の場合は出穂前に施用）

2回目（斑点米対策）：1回目散布から7～10日後

また、一般的な斑点米カメムシ対策として、出穂の2週間前までに畦畔等の草刈りを実施し、本田のノビエは早めに抜き取りましょう。

3 その他

- ・6月中旬以降の気象状況（アメダス観測地：上郡）は、平均気温は高く、降水量は平年より少なく、日照時間は多くなっていました。
- ・梅雨明けは気象庁の速報値では昨年より21日早い6月27日となりました。
- ・1か月予報：平年に比べ曇りや雨の日が少ない（気温：高、降水量：少、日照時間：多）
- ・基幹防除を徹底するとともに、イネカメムシの防除に努めてください。

次回の調査予定日：令和7年7月23日（水）です。